

指定管理者の管理運営評価表

施 設 名	五泉市村松観光開発会館	担 当 課 名	商工観光課
指定管理者名	黄金の里・ふるさとプロモーションパートナー		

区分	選定基準	評価項目	具体的業務要求水準	評価
公平性 透明性	市民の平等な利用が確保されること。	「市民の平等利用が確保されること。」に対する基本的考え方（理解度、取組姿勢など）	条例・規則や関係諸法規を理解した運営・管理を行い利用者の平等性が保たれていること。	A
		平等利用を確保するための体制が確立されていたか（モニタリングなど）	定めた手続きに基づいた許可がなされているか。 利用料が適切に徴収されているか。	A
		個人情報の保護、情報公開、広報の方法などが適切に図られていたか	「市情報公開条例」及び「個人情報保護法」に基づき実施されているか。	A
		その他管理者の提案によるもの		
効果性 効率性	事業計画書の内容が、指定施設の効用（設置目的）を最大限に発揮し、その管理の効率性が図られるものであること。	「事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限に発揮するものであること。」に対する基本的考え方（理解度、取組姿勢など）	仕様書・事業計画書に基づく事業が適切に実施されているか。	C
		業務の改善や工夫は十分であったか また、再委託する業務の内容及び委託先の妥当性はあったか	職場会議等を実施しているか。 再委託した業務が問題なく遂行されているか。	B
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策は確立されていたか	利用者へのアンケート調査を実施しているか。 利用者からの要望、クレーム等に対し、適切に対応しているか。	C
		利用者に対するサービス向上の方策が図られていたか	接遇等の職員研修が実施されているか。	D
		利用の促進、利用者増の方策が図られていたか	利用者増に繋がる具体的な取り組みをし、利用者にアピールしているか。	B
		サービスの質を確保するための方策が図られていたか	モニタリングが実施されているか。	C
		施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置であったか	有資格者を適正に配置した職員体制になっているか。 申請書に記載されている人的体制になっているか。	B

区分	選定基準	評価項目	具体的業務要求水準	評価
効果性 効率性	事業計画書の内容が、指定施設の効用（設置目的）を最大限に発揮し、その管理の効率性が図られるものであること。	「事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること。」に対する基本的考え方（理解度、取組姿勢など）	人件費の適正化を図っているか。 管理経費縮減に向けた努力をしているか。	B
		指定管理経費に妥当性があったか（サービスとコストのバランスなど）	無理な経費縮減により、管理の質が低下していないか。労務環境の悪化がないか。利用者のサービスの向上が図られているか。	B
		収支計画に妥当性があったか	収支がプラスになっているか。	A
		管理経費縮減の具体的方策が取られていたか	省エネに努めているか。 設備・施設の日常点検がされているか。	B
		利用料金を徴収する施設の場合、収入の増加を図るための方策が取られていたか	収支計画書等で示した利用料金の収入が達成されているか。	C
		その他管理者の提案によるもの		
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有していること。	「事業計画書に沿った管理を安定して行う人的能力、物的能力を有していること。」に対する基本的考え方（理解度、取組姿勢など）	「公の施設」を管理するということに基づいて、安定的な財政基盤を有し、適正な人員配置がなされ、業務が遂行されているか。	B
		当該公の施設に必要な管理能力を有していたか（組織及びスタッフの経歴、保有する資格、ノウハウ、専門的知識など）	現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切か。	B
		経営基盤の安定性が確保されていたか	経営状況は良好か。 定めたとおりに開館していたか。	B
		スタッフ等の管理、監督体制が確立されていたか	色々な物事の周知徹底体制の確立。 苦情等を把握することができ、適正に処理ができる体制の確立。	B
		スタッフ等の人材育成の方策が確立されていたか	衛生管理、接遇等の職員研修が実施されたか。	D
		リスクへの対応策が確立されていたか（防止策、非常時の対応マニュアル等）	非常時の対応マニュアルが作成されているか。	A
		リスクへの対応能力は十分であったか（資金力、損害賠償能力など）	小規模修繕の実施。 賠償責任保険の加入。	B

区分	選定基準	評価項目	具体的業務要求水準	評価
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有していること。	グループ応募の場合、グループの安定性は確保されていたか	グループが協力して管理運営する体制になっていたか。	B
		グループ応募の場合、役割分担及びリスク分担などの確実性及び妥当性が確保されていたか	グループそれぞれの特性を活かした役割分担になっていたか。	B
		その他管理者の提案によるもの		
貢献性	事業計画書の内容が、五泉市の振興・活性化に貢献できるものでありこと。	「事業計画書の内容が、五泉市の振興・活性化に貢献できるものであること。」に対する基本的考え方（理解度、取組姿勢など）	観光の拠点として役割を果たせたか。 市民福祉の増進が図れたか。	C
		地元法人その他の団体の育成について、積極的であったか	地域の団体等と積極的に連携を取り業務を行っていたか。	B
		地元住民、高齢者、障害者等の雇用について、積極的であったか	職員は地元住民を採用しているか。	A
		地元での資材等の調達を積極的行っていたか	地元業者から優先購入しているか。	B
		その他管理者の提案によるもの		C

■総合評価（コメント）

令和7年度は、黄金の里・ふるさとプロモーションパートナーが指定管理者として運営する1年目であった。

利用者は昨年度と比較して1,278人、約9.1%減少した。収入では食堂売上が前年比605千円、約6.3%減少、観桜期間の駐車場売上は前年比379千円、約45.9%の減少となったが、今年度より光熱水費が清算項目となったことによる指定管理費の増額で、収入全体では前年比744千円、約4%の減少であった。一方支出では、人件費が前年比404千円、原材料費等が前年比308千円、共に約6%の増加となったが、事務管理費が433千円、約20%の削減がなされたこともあり、最終的な収支は506千円の黒字となった。

収入減少の主な要因としては観桜期間中の天候不良により駐車場収入が減少したこと、今年度から館長の高齢化に伴う、提供メニューを限定した縮小営業日を設けたことが考えられる。

早急に計画しているカフェスタイルの導入し、売り上げ増加を目指すと共に、引き続き、弁当配達などの外販強化は継続し、指定管理者が同じく運営している黄金の里会館と連携した取り組みによる相乗効果を高める取り組みを行っていただきたい。